

令和（ 7 ）年度 教科（ 国語 ） 第（ 1 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力、資質・能力）

言語感覚を豊かにし、思考力や想像力を養い、自らの考えを適切に伝え合おうとする。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既有的の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	・ 定期テスト ・ 小テスト ・ 話す表現（スピーチ、話し合い） ・ 書く表現（作文、レポート） ・ 書写作品	・ 定期テスト ・ ワークシート（記述） ・ 話す表現（スピーチ、話し合い） ・ 書く表現（作文、レポート） ・ 行動観察	・ 振り返りシート ・ 提出物の工夫、修正 ・ 国語ノート ・ 行動観察	
観点別到達度（%）	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容（時数） （単元の主要な教材を示しています）	時数	他教科等との関連
1	4	1 言葉を楽しむ	風の五線譜／扉の詩八編 朗読の世界 詩の心——発見の喜び 詩の創作【書】	3	技術・家庭 理科 社会 道徳 総合的な学習の時間
	5			4	
	6	2 思いを捉える	私たちの未来 インタビュー 【話聞】	4	
	7		◇書写1	4	
2	8	3 分かりやすく伝える	オオカミを見る目 食文化のレポート【書】	8	
	9	4 展開を捉える	さんちき 案内や報告の文章 ◇書写2	7	
	10	5 考えをまとめる	私のタンポポ研究 「写真」の意見文【書】	6	
	11	詩	月夜の浜辺	8	
3	12	6 伝統文化に親しむ	移り行く浦島太郎の物語 伊曾保物語／竹取物語／矛盾 ◇書写3	5	
	1	7 伝え方を考える	ニュースの見方を考えよう 「似ている言葉」スピーチ 【話聞】	4	
	2	8 視点を変える	少年の日の思い出 日常生活から生まれる随筆 【書】	3	
	3		グループディスカッション 【話聞】 わたしの中にも	3	
通年		言葉／漢字／文法	漢字道場1・2・3 文法の窓1・2・3 日本語探検1・2・3	19	
総時数		140 時間			

令和（ 7 ）年度 教科（ 社会 ） 第（ 1 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を探究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】（つけたい力、資質・能力）社会的事象に対して、自ら課題を見つけ、様々な資料や他者との交流を通して、自分の考えをまとめ、根拠を明確にして表現する力を高め、その意義や特色などを理解する力を身に付ける。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	ペーパーテスト (定期試験) レポート (学習内容の整理、記述内容) ワークシート (記述内容) 行動観察 (発言・記述・返答内容)	ペーパーテスト (定期試験) レポート (事象の整理、資料の活用、記述内容) ワークシート (記述内容) 行動観察 (発言・記述・行動内容)	ペーパーテスト 振り返りシート レポート (記述内容) ワークシート (記述内容) 行動観察 (発言・記述内容・態度)	
観点別到達度 (%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合 (%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元，教材名	小単元，学習内容（時数）	時 数	他教科等 （道徳）との関連
1	4	地理	・世界の姿（7），日本の姿（6） ・人々の生活と環境（10） ・歴史をとらえる見方・考え方（4） ・身近な地域の歴史（4） ・世界の古代文明と宗教のおこり（7）	23	数学 理科 書写・国語
	5	・世界と日本の地域構成			
	6	歴史			
	7	・歴史へのとびら			
2	8	地理 世界の諸地域①	・アジア州（8）・ヨーロッパ州（7） ・アフリカ州（5） ・日本列島の誕生と大陸との交流（5） ・古代国家の歩みと東アジア世界（10）	20	英語
	9				
	10	歴史			
	11	・古代までの日本			
3	12	地理	・北アメリカ州（6） 国 生命 ・南アメリカ州（5）・オセアニア州（5） ・武士の政権の成立（7） ・ユーラシアの動きと武士の政治の展開（9）	16	理科
	1	世界の諸地域②			
	2	歴史			
	3	・中世の日本			
総時数		105 時間			

令和（ 7 ）年度 教科（ 数学 ） 第（ 1 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力、資質・能力）

事象を数学的に捉え考察することができ、数学的な根拠を明確にしながら自らの考えを説明できる力をつける。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	ペーパーテスト (定期テスト)	ペーパーテスト (定期テスト)	振り返りシート 行動観察 (発言、記述、行動内容) 課題への取り組み方 振り返りテスト 小テスト レポート	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元, 教材名	小単元, 学習内容 (時数)	時数	他教科等との関連
1	4	正負の数 文字と式 方程式	○正の数・負の数(5) ○加法・減法(8)	28 19	理科 理科 理科
	5		○乗法・除法(15)		
	6		○文字式(9) ○式の計算(10)		
	7		○1次方程式(10)		
	8				
2	9	比例と反比例 平面図形	○1次方程式の利用(8)	18	理科 技術, 美術
	10		○関数(3) ○比例(8) ○反比例(5)	16	
	11		○比例と反比例の利用(5) ○平面図形の基礎(6)	24	
	12		○いろいろな図形(7) ○図形の移動(6)		
3	1	空間図形	○空間図形の基礎(6) ○立体のいろいろな見方(3)	9	技術, 美術 理科
	2	データの分析と活用	○図形の計量(9) ○資料の傾向の調べ方(6)	26	
	3		○資料の活用(11)		
総時数	140 時間				

令和（ 7 ）年度 教科（ 理科 ） 第（ 1 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力，資質・能力）

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能。
- (2) 観察，実験などを行い，科学的に探究する力。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	定期テスト 単元テスト・小テスト 個人レポート・ファイル・ノート 授業中の行動観察 パフォーマンステスト	定期テスト 単元テスト・小テスト 個人レポート・ファイル・ノート 授業中の行動観察 パフォーマンステスト	定期テスト 自己評価シート 個人レポート・ファイル・ノート 授業中の行動観察 パフォーマンステスト	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元，教材名	小単元，学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	(1) いろいろな生物とその共通点	ア 生物の観察と分類の仕方（10）	25	数学
	5		イ 生物の体の共通点と相違点（15）		保健体育
	6				家庭
	7	(1) 身の回りの物質	ア 物質のすがた（5）	30	数学
2	8		イ 水溶液（10）		技術
	9		ウ 状態変化（10）		
	10	(2) 身近な物理現象	ア 光と音（15）	25	数学
	11		イ 力の働き（10）		技術・家庭
3	12				数学
	1	(2) 大地の成り立ちと変化	ア 身近な地形や地層，岩石の観察（5）	25	社会
	2		イ 地層の重なりと過去の様子（10）		数学
	3		ウ 火山と地震（10）		技術・家庭
					数学
総時数	105時間				

令和（ 7 ）年度 教科（ 音楽 ） 第（ 1 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力、資質・能力）

音楽活動を主体的・協働的に楽しみながら音楽に関わり、音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした表現の技能を身に付け、音楽に親しみ、生活を豊かなものにしようとする。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	音楽の知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	実技テスト（実技発表） 授業中の学習の様子 定期テスト	実技テスト（実技発表） 授業中の学習の様子 鑑賞レポート（記述内容） ワークシート 定期テスト	自己評価カード ワークシート 感想文 レポート 授業中の学習の様子 定期テスト	
観点別到達度（%）	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	Ⅱ・曲想の変化と楽器の音色	・ヴィヴァルディの協奏曲「四季」	4	社会（歴史）
	5	・アルトリコーダーの導入	・アルトリコーダーの基本奏法	5	理科（音の性質）
	6	・曲の形式と構成	・「主人は冷たい土の中に」（二部形式）	4	社会
	7	・合唱の喜び	・混声3部合唱「カリブ夢の旅」	5	国語・道徳
	8				
2	9	・日本の歌・心の歌	・「赤とんぼ」「浜辺の歌」	3	国語（詩の世界）
	10	Ⅱ・日本の民謡	・「ソーラン節」「音戸の舟歌」郷土の音楽	3	社会（地理・歴史）
	11	Ⅱ・日本の伝統音楽		4	社会（歴史）
	12	・日本の楽器に親しむ	・箏曲「六段の調」雅楽「越天楽」	6	社会（歴史）
3	1	Ⅱ・曲想の変化と歌曲	・箏実演と創作「さくらさくら」	4	国語（詩の世界）
	2	・アルトリコーダーの基礎	・シューベルトのリート「魔王」「野ばら」	4	理科（音の性質）
	3	・合唱の喜び	・アルトリコーダーの高音と低音の奏法 ・混声3部合唱「旅立ちの日に」	3	国語・道徳
総時数	45 時間				

令和（ 7 ）年度 教科（ 美術 ） 第（ 1 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

【教科のゴールイメージ】

造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上
評価方法	定期テスト アイディアスケッチ 作品（制作途中・完成） ワークシート 行動観察（発言・記述・行動）	定期テスト アイディアスケッチ 作品（制作途中・完成） ワークシート 行動観察（発言・記述・行動）	アイディアスケッチ 作品（制作途中・完成） ワークシート 行動観察（発言・記述・行動）	4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
観点別到達度（%）	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	美術って何だろう	美術ではどんなことを学ぶのか	2	国語
	5	文字をデザインする	生活の中で使われている文字	2	
		文字で楽しく伝える	形や色を工夫し文字をデザインする	7	
	6	どうやって描く	イメージに合った表現のために	1	
	7	色の世界に出会う	色の仕組みを学ぶ	2	
	8	自然の形や色を見つめて D	自然物の形や色を表す工夫をする D	3	
2		描いてみよう	立体感をあらわすために		道徳
	9	見つめ、感じ取り、描く	身近なものを見つめ、スケッチする	6	
	10	風神雷神、自然と人と	作品の見方考え方を深める	1	
	11	さまざまな描き方	描き方の幅に広がりをもたせる	2	
	12	絵から物語をつぐむ	自分なりの物語を想像する	2	
3		暮らしをいろいろ文様	生活との関わりや工夫・願いを感じ取る	2	数学
	1	印象に残るロゴマーク	意味を込めて印象に残る工夫をする	3	
	2	気持ちを伝えるデザイン	気持ちを伝えるための工夫をする	7	
		形や材料を比べてみよう	場面や目的に合った工夫を感じ取る	1	
	3	材料に命を吹き込む	材料による表現の面白さを感じ取る	4	
総時数	45 時間				

令和（ 7 ）年度 教科（ 保健体育 ） 第（ 1 ）学年 年間指導計画（シラバス）					
【教科の目標】 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。					
【教科のゴールイメージ】（つきたい力，資質・能力） 主体的にスポーツや自分の健康に関心を持ち、生涯にわたって、健康に関心を持ちスポーツができる人になる。					
【評価の観点と評価方法】					
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定	
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼう	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満	
評価方法	・学習カード（記述内容） ・副教材（資料ノート） ・ペーパーテスト（期末テスト） ・行動観察（実技の形成的評価） ・実技テスト	・学習カード（記述内容） ・副教材（資料ノート） ・ペーパーテスト（期末テスト） ・行動観察（協働性、コミュニケーション能力、表現活動） ・実技テスト	・学習カード（記述内容） ・副教材（資料ノート） ・ペーパーテスト（期末テスト） ・行動観察（発言、欠席、道具準備） ・実技テスト		
観点別到達度（%）	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満				
観点別割合（%）	35%	35%	30%		
【学習計画】					
学期	月	単元，教材名	小単元，学習内容（時数）	時数	他教科等との連携
1	4	体づくり運動	体ほぐしの運動，体力を高めるための運動	16	
	5	陸上競技	短距離走，リレー	7	
	6	球技 ネット型	バレーボール	5	
	7	水泳	クロール，平泳ぎ	8	
	8				
2	9	球技 ネット型	バレーボール	5	
	10	武道	柔道	8	
	11	器械運動	マット運動，跳び箱運動	10	
	12	球技 ゴール型	サッカー	9	
3	1	陸上競技	長距離走	9	
	2	ダンス		9	
	3				
通年		体育理論	スポーツの多様性	3	
		保健	健康な生活と病気の予防① 心身の発達と心の健康 性とうどう向き合うか	16	家庭分野，理科
総時数	時間	105 時間			

令和（ 7 ）年度 教科（技術・家庭科（技術分野））第（ 1 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力，資質・能力）

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりを通してよりよい生活や持続可能な社会を構築しようとすることができる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	定期テスト ワークシート・振り返り 学習ノート 作品	定期テスト ワークシート・振り返り 作品	定期テスト ワークシート・振り返り 学習ノート 作品	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元，教材名	小単元，学習内容（時数）	時数	他教科等との関連	
1	4	ガイダンス	技術の役割，技術の見方・考え方（4）	4	社会 理科 数学	
	5	【A材料と加工の技術】	材料や加工の特性（3）	6		
	6	生活や社会を支える材料と加工の技術	製図（3）	15		
	7	材料と加工の技術による問題の解決	問題解決の流れ（2）			3
	8		問題の発見と課題の設定（2）			
2	9	社会の発展と材料と加工の技術	製作品の設計（3）	3	社会	
	10		これからの材料と加工の技術（3）			
	11					
	12					
3	1	【D情報の技術】	コンピューターの基本操作・情報モラル（4） D	4	道徳	
	2	生活や社会と情報の技術				
	3	【B生物育成の技術】		生物の成長などの原理・法則・基礎的な技術の仕組み（3） 生命	3	理科
		生活や社会を支える生物育成の技術				
総時数	35時間					

令和（ 7 ） 年度 教科（技術・家庭科（家庭分野））第（ 1 ） 学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力，資質・能力）

自立と共生を目指し、生活の中の問題に向き合って、課題を見つけ、解決する力を身に付けることができる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既有的の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	活動状況（実習） ワークシート（記述内容） 作品 実技テスト 定期テスト	レポート（記述内容） ワークシート（記述内容） 振り返りシート（記述内容） 作品 定期テスト	レポート（記述内容） ワークシート（記述内容） 自己評価カード（記述内容） 行動観察	
観点別到達度（%）	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元，教材名	小単元，学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	家庭分野のガイダンス	自立と共生を目指そう（1）	1	道徳
	5	家族・家庭と地域	中学生としての自立（2）	2	
	6	私たちの衣生活	どうして衣服を着るのだろう（2）	2	
	7	衣服の選択と手入れ	私らしさと T.P.O～着方の工夫～（2）	2	
2	9	私たちの食生活 生活を豊かにするために 食事の役割と中学生の栄養の特徴 中学生に必要な栄養を満たす食事	日本の衣文化（1）	1	社会
	10		衣服計画と必要な衣服の選択（1）	1	
	11		☐ 衣服の手入れ（4）	4	
	12		作って楽しい布作品（8）	8	
3	1	日常食の調理と地域の食文化	どうして食事をするのだろう（2）	2	理科 保健体育
	2		栄養素ってなんだろう（2）	2	
	3		☒ 中学生に必要な栄養素（2）	2	
			食品に含まれる栄養素（2）	2	
総時数			☐ 何をどれくらい食べればよいか（2）	2	
			日常食の調理（4）	4	
		35 時間			

令和（ 7 ）年度 教科（ 外国語 ） 第（ 1 ）学年 年間指導計画（シラバス）

【教科の目標】外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】（つきたい力、資質・能力） コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて日常的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既有的の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	ペーパーテスト （定期テスト、小テスト） パフォーマンステスト （記述や発話内容） リスニングテスト	ペーパーテスト （定期テスト） パフォーマンステスト （記述や発話内容）	活動への取り組み （活動観察、振り返り記述内容） パフォーマンステスト （活動観察） 提出物（記述内容）	
観点別到達度（%）	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元，教材名	小単元，学習内容（時数）	時数	他教科等との関連	
1	4	Unit 0 Nice to Meet You Unit 1 Hello, Everyone!	〇あいさつをしたり、好きなものをたずね合ったりする。 〇自分のことを伝えたり、相手のことをたずねたりする。	10 10	社会	
	5	Unit2 Our New Teacher	〇身近な人やものについて、紹介したりたずねたりする。	11		
	6	Unit3 Our School	〇知らないものや人についてたずねたり、いつ・どこなのかたずねたりする。	11		
	7	Unit 4 Friends in New Zealand	〇数や時刻、好きなものについてたずねたり、指示や助言をしたりする。	11		
	8	Stage Activity1 “All about Me”Poster	〇自分の好きなことについて、つながりのある文章を書く。	3		
2	9	Unit5 My brother in Hawaii	〇自分と相手以外の人やものについて、たずねたり伝えたりする。	12	社会，家庭	
	10	Unit 6 A Rakugo Performer from the U.K.	〇自分と相手以外の人について話したり、だれのものかをたずねたりする。	12	国語	
	11	Unit 7 An Online Tour of the U.K.	〇今していることについて説明したり、たずねたりする。	12	社会	
	12	生命 Unit8 Think Globally, Act Locally D Stage Activity2 My Hero	〇したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりする。 〇好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、説明したりする。	12 3		
	1	Unit9 Winter Vacation	〇過去の出来事について説明したり、たずねたりする。	12		
3	2	Unit10 This Year’s Memories	〇過去の状態や気持ち、過去のある時点でしていたことについて説明する。	12		
	3	Stage Activity3 My Favorite Event This Year	〇思い出に残った出来事について発表する	4		
		Let’s Read Gon, the Fox	〇物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりする。	5		
	総時数					
	140 時間					

